

国立病院機構 福山医療センター レジメン登録・管理表

レジメン名称	乳癌 weekly PTX+維持用薬 (MA) フェスコ皮下注射療法		臨床区分	抗癌剤適応分類	登録日	2025年9月3日	
疾患名	乳癌		☒ 日常診療 ☐ 単施設自主研究 ☐ 他施設自主研究 ☐ 市販後臨床研究 ☐ 治験	☒ 進行・再発化学療法 ☒ 術後化学療法 ☒ 術前化学療法 ☐ 局所療法 ☐ その他	1クール期間	21日	
診療科名	乳腺・甲状腺外科				実施回数	/回	
登録医師名	高橋 寛敏						
適応	HER2陽性の乳癌						

Rp	薬品名称	標準投与量	単位	投与方法	ルート	投与時間	投与日										注意コメント
							day1	—	day8	—	day15	—	—	—	—	—	
1	フェスコ配合皮下注 MA	1	瓶	皮下注射		5分以上	●	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1)5分以上かけて、2mL/min以下の投与速度で大腿部に皮下注射 2)投与終了後、15分の経過観察を行う 2回目移行は経過観察中に化学療法等の投与可能 3)薬剤部コメント：シリンジ調製で払い出し 4)前回投与日から6週間以上投与間隔が空く場合には初回投与量(IN)で投与する。
2	生理食塩液	250	mL	点滴静注	メイン		●	—	—	—	—	—	—	—	—	—	血管確保用 ※開始から終了までECGモニターを装着すること
3	生理食塩液	100	mL	点滴静注			—	—	●	—	●	—	—	—	—	—	血管確保用 ※開始から終了までECGモニターを装着すること
4	レスタミンコーワ錠10mg	5	錠	経口			●	—	●	—	●	—	—	—	—	—	パクリタキセル投与開始30分前までに内
5	生理食塩液	100	mL	点滴静注	側管	15min	●	—	●	—	●	—	—	—	—	—	レスタミンと同時投与（レスタミン内服不可患者には医師に確認）
	ファモチジン注射液 20mg	1	管														
	デキサート注射液 6.6mg	1	瓶														
6	グラニセトン点滴静注液1mgバック	1	袋	点滴静注	側管	30min	●	—	●	—	●	—	—	—	—	—	
7	生理食塩液	250	mL	点滴静注	側管	60min	●	—	●	—	●	—	—	—	—	—	フィルター付き点滴セット使用
	パクリタキセル注	80	mg/m2														

備考欄
大腿部以外には皮下注射しないこと、また前回投与部位からは2.5cm以上離れた部位に投与すること。
注射針は25Gが推奨されている。定期的に心エコー検査を行うこと。

文献
A Phase II study of Pertuzumab, trastuzumab, and weekly paclitaxel in patients with HER2-overexpressing metastatic breast cancer(MBC)

減量・中止基準
【中止基準】
初回 白血球数<3000/mm³ or 好中球数<1500mm³
2回目以降 白血球数<2000/mm³ or 好中球数<1000mm³
【減量の目安】
白血球数<1000/mm³ 60mg/m²へ減量
【肝機能低下例に対する減量の目安】
①AST及びALTが10×施設正常上限 (ULN) 未満かつ、血清ビリルビン:1.26~2×ULNで25%減量
②AST及びALTが10×施設正常上限 (ULN) 未満かつ、血清ビリルビン:2.01~5×ULNで50%減量
③AST及びALTが10×施設正常上限 (ULN) 以上、又は、血清ビリルビン:5×ULNを超える場合は中止
参照：がん化学療法レジメンハンドブック改訂第7版 P278